

令和7年度 詳細評価シート

(1)事業の概要等

事業番号	B2002		事務事業名	鳥獣等関係対策事業			事業期間	昭和63年度以前	～	令和9年度以降								
実施計画事業																		
評価対象年度	令和 6 年度	担当部	地域活性化営業部			担当課・担当係	農政課 農業振興係											
事業の概要・展開	小牧市まちづくり推進計画 (R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	20	展開 方向	2	事業区分	その他(評価対象)	款	6	項	1	目	3	大	5	中	1
	事業の目的・効果	有害鳥獣の駆除を行うことで、鳥獣による生活環境、農作物に対する被害を防止し、生活環境の保全及び農業の健全な発展に寄与することを目的とする。						事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣等駆除委託 (有害鳥獣の殺処理、焼却処理、有害鳥獣駆除(檻・罠の定期巡回等)、スズメバチ等巣駆除(農政課の管理施設等)、カラス駆除) 移入種駆除委託(ジャンボタニシ駆除) カラス被害防止対策調査等委託(行動抑制装置の効果検証) 鳥獣被害防止対策協議会負担金 スズメバチ等巣駆除補助金(市民等に対する補助) 									
	事業の経緯・年度計画	鳥獣による生活環境、農作物に対する被害を防止のため、農作物に加害する有害鳥獣の駆除や捕獲檻の管理・定期巡回を小牧市猟友会に委託するとともに、公共水路における移入種(ジャンボタニシ)駆除を実施。また、イノシシの捕獲数の増加に伴い、被害防止強化のため平成30年に小牧市鳥獣被害防止対策協議会を設置し、令和4年度から、社会実験としてカラス被害防止対策調査を実施している。																

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R3	R4	R5	R6	R7
			直接経費	決算額	千円	6,081	7,539
	財源						
	一般財源						
	国・県支出金						
	その他						
	計(A)		6,081	7,539	10,184	11,299	
	対前年比	%	—	123.98%	135.08%	110.95%	
	予算額	千円	7,125	7,412	10,859	11,937	12,050
人件費	正規職員	人	0.9	0.9	0.9	0.9	
	会計年度任用職員	人					
	人件費(B)	千円	6,772	6,772	6,772	6,772	
	事業費合計(C=A+B)	千円	12,853	14,311	16,956	18,071	

(3)業績

指標	指標ほか	単位	R3	R4	R5	R6	R7
			成果指標	鳥獣による農作物被害額	千円	—	—
			1,925	1,908	2,851	2,775	
活動指標	鳥獣捕獲数	匹	—	—	—	—	—
			517	642	602	522	

(4)事業の評価

事業の方向性	維持(改善)	事務事業評価による額	0	千円	
事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	イノシシの捕獲数は平成28年度以前は、ほぼ10頭以下であったが、平成29年度以降急増し、令和4年度、5年度は80頭を超える捕獲数となっており、生息域も拡大してきている。場所の状況を判断しながら、くくりわなや檻を設置した。その他の鳥獣についても、檻の貸し出しや業務委託により捕獲を行った。ジャンボタニシについては、発生状況を確認しつつ複数回除去作業を実施するなど、防除を行った。カラスに対しては、被害防止対策調査等委託を令和5年度から開始し、音声再生による飛来の軽減及びスピーカーによる群れの誘導を実施し、一定の成果を得ることができている。スズメバチ等巣駆除について多くの相談が寄せられており、補助金の周知を図るとともに、本制度を活用いただいた。	鳥獣等の個体数を減少させることは物理的に難しい中で、イノシシの生息域の拡大やシカの目撃情報が増加している状況であり、農作物への被害を防止するために、猟銃やくくり縄等の専門的な知識・免許を有する猟友会や鳥獣協議会との密な連携が必須である。また、捕獲されたイノシシや小動物等の殺処分及び焼却処分、ジャンボタニシの除去等についても職員では対応できない業務であり、専門の医師や処分場などが必要となることから、引き続き業務の委託等により捕獲等の対策を講じていく。	今後の実施内容		
E(廃止)業務自体を無くせるか	No	改善 取組内容	近年、篠岡地区において、鹿の目撃情報が寄せられており、農作物への被害防止に向け、鹿捕獲について猟友会と協議を進める。		
C(結合)作業をまとめられるか	Yes				
R(入替・代替)手順や担当を変えられるか					
S(単純化)もっと簡単にできるか					